

第 39 回翻訳検定試験について

Q&A よくあるご質問

質問 1. 今回の検定試験は級ごとの試験が無いということだが、従来の 1 級程度の試験が出るということで合っているか？

回答 ご理解の通り従来の 1 級程度の試験問題が出ます。採点の結果に応じて、1 級、2 級、3 級、不合格の成績が付与されます。

質問 2. どのような問題構成になっているのか？

回答 今回の検定試験では、翻訳をしていただく問題とすでにある翻訳を修正していただく試験の問題とが出されます。すでにある翻訳を修正する形式の問題は、これまでにない新たな形式となります。

質問 3. これまで 1 級以外では分野の選択がなかったが、今回の試験からは必ず（知財法務実務、機械、電気、化学、バイオの）いずれかを選ぶ必要がある？

回答 はい、従来の 1 級に相当するより実務に即した出題がなされるため、いずれかの分野を選択いただく必要があります。